

ガリツィア・ユダヤ博物館



写真パネル展

ナチス・ドイツによるユダヤ人絶滅政策のもと、人は何を思い、どのように生きたのか。
ガリツィア・ユダヤ博物館（ポーランド、クラクフ）の企画による本展示は、14歳の少女リフカが残した日記と当時の写真史料から、ポーランド第二の都市ウッチに設置されたゲットー*のありようを浮き彫りにします。

■展示：2022年4月26日(火)～6月30日(木)
9:00～17:00 (日祝休館 土曜17:00閉館)
＜申込不要・参加無料＞

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館
(日進キャンパス) 5階 展示ホール

■シンポジウム＜要事前申込・詳細は裏面＞
「ウッチから考えるホロコースト」
2022年6月18日(土) 14:30～17:30
名駅キャンパス ME10教室

ウッチ・
ゲットーの
少女

リフカの日記

*ゲットー…ナチス・ドイツがユダヤ人の追放、後に殲滅を企図して設置した、隔離された強制居住地区



共催：名古屋外国語大学 世界共生学部 ワールドリベラルアーツセンター
東京外国語大学大学院 博士前期課程 ダブル・ディグリー修士プログラム
「公共圏における歴史(HIPS)」

※学外の方は図書館入館時に1階総合受付にお申し出ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じ、学外の方への展示の公開は一時停止する場合がございます。

ウェブサイトで公開状況をご確認ください。 https://www.nufs.ac.jp/library_facilities/wla-center/2022/0618/

World Liberal Arts Center



お問合せ：名古屋外国語大学 世界共生学部 世界共生学科

TEL: 0561-75-2886 (学科直通) E-mail: collabo_joshu_gg@nufs.ac.jp

シンポジウム＜要事前申込・参加無料＞

「ウッチから考えるホロコースト

——歴史・抵抗・表象」

2022年6月18日(土) 14:30～17:30 (14:00 開場)

名駅キャンパスME10教室 (オンライン同時配信)

イオンモール Nagoya Noritake Garden 併設 BIZrium名古屋6階



ウッチ・ゲッターがポーランド各地のゲッターの中でも特異な状況下にあったことに着目しつつ、第二次世界大戦以前のウッチの歴史、ゲッターの教育活動、写真による表象と記憶といった多角的な視点から展示内容を考察し、展示への理解を深めます。一部のみのご参加も可能です。

■プログラム

14:30～ 主催者挨拶

ガリツィア・ユダヤ博物館について(西村木綿)

14:40～ 福元健之

ウッチ「市民社会」の歴史的起点(1905-1919)

15:30～ 西村木綿

ゲッター内の教育と子どもたち、そしてリフカ

16:20～ 加藤有子

ウッチ・ゲッターの写真とその後

——ゲネヴァイン、ロス、グロスマン

17:00～ 質疑応答



福元健之 福岡大学講師。ポーランド史。西洋近現代史。ポーランド政府奨学金給付生としてウッチ大学に留学。著書は、ウッチ大学留学時の指導教員らとの共著 Robotnicy Łodzi drugiej połowy XIX wieku. Nowe kierunki badawcze (2016年、ウッチ大学学長賞) の他、Entangled Interactions between Religion and National Consciousness in Central and Eastern Europe (2020年、共著) など。



加藤有子 名古屋外国語大学准教授。ポーランド文学、表象文化論。USホロコースト博物館、イエール大学、ポーランド科学アカデミーで客員研究員。著書に『ホロコーストとヒロシマーポーランドと日本における第二次世界大戦の記憶』(2021年、編著)、『ブルーノ・シュルツ——目から手へ』(2012年、表象文化論学会賞) 他、訳書にデボラ・フォーゲル『アカシアは花咲く』(2020年、日本翻訳大賞) など。



西村木綿 名古屋外国語大学講師。近現代東欧ユダヤ史。ポーランド・ユダヤ関係史。主要業績：Polish-Jewish Relations and Anti-Semitism in Interwar Poland: Proceedings of the International Seminar (2018年、共編)、『ユダヤ人と自治——中東欧・ロシアにおけるディアスポラ共同体の興亡』(2017年、共著) など。本イベントの企画責任者。

リフカの日記

ウッチ・ゲッターの少女

シンポジウムのお申込みはこちらから (6月13日15:00締切)

シンポジウムは対面・オンライン同時配信(定員各100名)を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、全面的にオンラインとなる場合がございます。申込み時にご登録のメールアドレスにお知らせします。https://req.qubo.jp/wlac/form/20220618



シンポジウム当日の連絡先：名古屋外国語大学 名駅キャンパス事務室 TEL: 052-526-3103